

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393600057
事業所名	グループホームえんなり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	運営推進会議では「地域連携活動」の情報が多くなり、行事の話題が増えてきた。その中から地域交流では近隣や神社、認知症カフェ、公園など少人数に分けて、車椅子・散歩で、挨拶を交わしている。散歩の折、季節に応じて花見なども出来るようになった。また、利用者は屋上庭園の散歩や花壇を整備したり、法人内の複合施設NEXUS内で必要な往来は継続して行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は年6回対面で開催し、区長、民生委員、市役所職員、地域包括支援職員、家族代表が参加。入居者の状況、活動内容、事故・ヒアリハット、行事予定などを報告している。以前に比べて「地域連携活動」の行事の話が増えてきた。報告書の内容が充実してきており、今後の活動に期待している。メンバーからの意見を貰える工夫や内部会議などを充実させ、サービスの質向上に繋げる取り組みを始めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	管理者は江南市のグループホーム管理者会議、認知症部会、介護事業者連絡会に参加し、情報の収集している。日常的には運営推進会議、認定更新の機会や地域包括センターとは電話にて相談など連携は図られている。地域包括センターなどとは対面、電話で相談や連携は図っている。運営推進会議において、認知症のカフェ・家族会の案内やボランティアの情報なども得て参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議では質問票を配布し意見を吸上げている。また、「入居者様状況報告」を届けている。家族の要望は請求書配布時、物品を届ける来訪時や必要に応じて電話で聞き出している。これらの情報を基に、担当職員とケアマネジャーで原案を作成、職員全員が集まる職員会議などで話し合い、運営に反映させている。家族の要望は電話でも聞き出している。職場のコミュニケーションも良く職員会議などでは自由に発言、皆で考え実践し運営に反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価				○	×	×	○	×	×	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○	◎	○						